

蕙 工 ニュース

県立蕙崎工業高等学校

総務部

第 196 号

2020.02.03

就職内定100%達成
楽しかった修学旅行
高校生ものづくり競技会
高校芸術文化祭賞

就職内定100%達成(平成16年度から16年連続)

11月13日、学校推薦による就職希望者106名の進路先が決定し、今年度も就職内定率100%を達成しました。人手不足問題を背景に高卒求人は今年度も引き続き好調で、11月末現在、県内求人件数は公開(WEB)求人を含め439件、県外求人は730件と県内・県外求人はともに昨年度を5%上回りました。採用職種では建設業、医療・福祉、サービス業などの非製造業が際だった増加率を示しています。また、電子・電気機器、機械、自動車・輸送用機器などの製造業は横ばいの状況ではありましたが、昨年同様、有力企業を中心に数社から複数名の求人をいただきました。多数の生徒が製造業を希望するため、就職内定の大きな要因となりました。



本校では就職試験に対する指導を年々強化しています。学科・学年を中心に面接指導・学習指導に重点を置き、時間を確保して就職指導を進めています。今年度も3年生の就職試験に対する意識、面接対策・作文や学科試験対策の結果、次々と内定を勝ち取り、一次応募の合格率94.3%と素晴らしい成果を得ることができました。求人状況が好調とは言え、3年生の頑張りが高く評価できると思います。

人手不足問題を背景に企業の採用意欲は高まり、高卒者に対する求人活動が活発になっています。本校においても卒業生の実績・評価や生徒の活躍、企業実習(インターンシップ)による連携、そして企業開拓などにより企業の期待度は益々大きくなっており、蕙崎工業高校への求人数も年々増加しています。本校には「工業高校の強さと魅力」があります。製造業の求人が増え、工業高校の生徒は企業に自分の実績をアピールすることもできます。今年度も企業からのニーズに応え、「工業高校の強さと魅力」を十分アピールできたと思っています。

楽しかった修学旅行

12月8日(日)から3泊4日で沖縄本島への修学旅行が実施されました。残念ながら前日までの段階で、インフルエンザによって不参加になる生徒が若干名いました。しかし、出発当日にはインフルエンザによる欠席と遅刻もなく出発ができました。また旅行中の大きな病気やけがもなく無事帰校できたことが何よりでした。県立博物館・美術館で沖縄の歴史や伝統、文化や芸術を学び、国際通りの自由見学を行いました。2日目は最も楽しみにしていた班別行動を行いました。そして3日目のクラス別行動では、世界遺産の城(グスク)見学や平和学習等の後、ガンガラーの谷でCojacoさんのライブに、生徒は熱気あふれる盛り上がりを見せてくれました。最終日の首里城、守礼の門や玉陵、対馬丸記念館見学など、思い出の一つひとつが、今後の生活の糧になる旅行となりました。



2日目は最も楽しみにしていた班別行動を行いました。そして3日目のクラス別行動では、世界遺産の城(グスク)見学や平和学習等の後、ガンガラーの谷でCojacoさんのライブに、生徒は熱気あふれる盛り上がりを見せてくれました。最終日の首里城、守礼の門や玉陵、対馬丸記念館見学など、思い出の一つひとつが、今後の生活の糧になる旅行となりました。

高校生ものづくり競技会

11月17日（日）、第19回高校生ものづくりコンテスト全国大会（近畿大会）が大阪府摂津市にある関西職業能力開発促進センターにおいて開催され、電子機械科3年の小林陸空君（一宮中学校出身）が旋盤部門に出場しました。限られた時間の中で3つの作品を完成させるために常に頭と身体を使い作業を行うもので、使う刃物の数は20本を超え、測定箇所も30箇所以上にのぼります。よい結果を残そうと、毎日放課後の時間を使い準備してきました。しかし、全国のレベルはとても高く、思うような結果は残せませんでした。作業効率や作品の出来はもちろんのこと、作業に対する姿勢や準備等どれをとっても勉強になることばかりでした。この経験を今後の社会人生活に活かしてほしいと思います。そして、この記録に負けない結果を残そうという意欲のある後輩たちが出てきてくれることを期待しています。



高校芸術文化祭 写真部

芸術文化祭賞受賞 4年連続25回目の全国大会へ

11月20日（水）、山梨県立美術館で第40回山梨県高等学校芸術文化祭写真部門が行われました。美術館には、今年行われた3回の審査会で入賞した上位20作品と参加31校から出品された6作品の合計270作品が展示されました。審査はフォトグラファー合地清晃さんが担当されました。この大会での上位入賞者が、来年度高知県で開催される“こうち絵文”に出場が決まるということで、写真部員は皆たいへん意気込んでいました。その中で最高賞の芸術文化祭賞に2年生深沢賢太君（甲府北中学校出身）の「雷光」が選ばれました。そして「しっかりしたアングルと絶妙なシャッターチャンス、プリントの美しさなど何を表現したいのか見る人すべてにわかる作品」との講評をいただきました。全国大会では、ぜひ多くの作品に触れ今後の活動に役立ててもらいたいと思います。



新聞委員会 芸文祭 最優秀賞 3年連続全国大会へ

11月7日（日）、第40回山梨県高等学校芸術文化祭新聞部門がYCC県民文化ホールで行われました。参加校は甲府第一高校新聞部、甲府西高校新聞部、都留高校新聞同好会、そして本校新聞委員会の4校でした。当日は2年4組石井優人君（甲府南中出身）、2年4組齊藤隆也君（楡形中出身）、1年2組今村妃世里さん（敷島中出身）、1年6組久瀧颯太君（甲府南中出身）、1年6組深沢宏平君（若草中出身）の5名が参加しました。新聞部門では、昨年の11月から今年の10月までに発行した学校新聞が、山梨日日新聞社の方によって、審査されるものです。審査の結果、今年も最優秀賞を受賞し、来年8月に行われる全国高等学校総合文化祭高知大会へ2名派遣していただけることになりました。これからも学校生活の大きな出来事から小さな出来事まで、新聞で紹介していきますので、ご愛読をよろしく願います。



URL <http://www.nirasakith.kai.ed.jp>

e-mail info@nirasakith.kai.ed.jp